

うが、如何か。  
【答】本件については、今年度実施に向け施設側と調整を図っているところである。

対象者は、一定の要件のもと、支援の必要な概ね65歳以上の高齢者で、介護保険の要支援、要介護認定を受けていない者を想定している。

子育て支援について  
【問】厚生労働省は「次世代育成支援対策推進法」を今国会に提出した。この法案は、全ての自治体及び労働者数300人超の企業の事業主に、平成16年度に行動計画の策定を義務付けることとしている。

足立区としても子育て支援は区政の重要課題である。この国の動きに対し、区はどのように取り組んでいくのか伺う。

【答】国より15年度中にこの計画を策定する「先行53区市町村」の内定を受け国庫補助金を活用し、平成16年3月を目途に計画素案を策定する予定である。教育立区あだちのための学力向上を目指して

【問】学校自由選択制による学校の格差は正に對する取り組みを早急に行うべきだと思いがどうか。

また、千住地域を中心に児童・生徒の学力差をなくすための習熟度別授業を実施しているが、一日も早く全ての地域で行うべきと思いが、見通しを示されたい。

【答】希望する児童・生徒数が減少している学校については、魅力ある学校づくりの努力を、がんばる学校推奨制度を活用して支援していく。特に学力については、すべての児童・生徒に基礎

基本の確実な定着」を実現するために習熟度別指導等の充実をこれまで以上に推進していく。また、習熟度別授業の全区対応の見直しについては、平成18年度までに少人数指導のための区独自の特別講師を補充し、全校で習熟度別指導が行えるよう努めていく。



明石 幸子 議員

【問】高齢者のみの所帯や障害者のみの所帯はごみ集積場所にごみを出すのが困難である。そこで、地域の方々のネットワークでごみ収集のお手伝いをしていただく等、地域ぐるみで対応策を検討すべきと思いが、如何か。

【答】国より15年度中にこの計画を策定する「先行53区市町村」の内定を受け国庫補助金を活用し、平成16年3月を目途に計画素案を策定する予定である。教育立区あだちのための学力向上を目指して

【問】現在、都において「患者の声相談窓口」を設置し、医療機関等で行われている医療に関する相談や苦情に積極的に対応している。区でも保健所において区内診療所等における医療に関する相談や苦情に積極的に対応している。今後、都区で連携しながら、医療全般にわたる相談等に対応していく。



【問】同じ病気で男女では治療法や薬の量に違いがあり、その為、男女の性差を考慮した医療の必要性が認識されるようになったことから、各地で女性専門外来の開設が進んでいる。近年、働く女性の増加や高齢化などを背景に女性が直面する病気や健康上のトラブルが多様化していることから、東部地域病院に女性専門外来を早期に設置するよう区として関係機関に働きかけるべきと思いが、伺う。

【答】都では、都立大塚病院に女性専門外来を7月に設置する予定である。東部地域病院の経営主体は都と異なるが、今後区民の要望が強いことに鑑み、病院の運営協議会に要望を出していく等働きかけていく。

【問】医療過誤や後遺症で悩んでいる方は多く、保健所で行われている健康相談とは別に、区民から寄せられた声の一つひとつを大切に受け止め、必要に応じて医療機関とのパイプ役を果たすなど、がんばって生きる人の支えとなれるような(仮称)医療安全相談室の設置は必要と思いが、如何か。

【答】現在、都において「患者の声相談窓口」を設置し、医療機関等で行われている医療に関する相談や苦情に積極的に対応している。今後、都区で連携しながら、医療全般にわたる相談等に対応していく。

【問】つくばエクспレスの開通は、交流・連携の幅を広げるチャンスでもあると認識している。今後、交流・連携の幅を広げるチャンスでもあると認識している。



小泉ひろし 議員

【問】本年3月に伝統工芸産業の活性化を図ることを目的に「足立伝統工芸品展」が実施され、同時に工場工業製品の展示や異業種交流グループの新製品開発展示もされた。今後も展示のみならず展示販売の機会を増やすように区としても取り組むべきであると思いが、どうか。

【答】このたび、業種を超え伝統の技を継承し、工芸品の文化的価値を後世に伝え、更に販路拡大を図り伝統工芸産業の活性化にも寄与することを目的に、足立区伝統工芸振興会が設立された。今後、区は振興会が主体的に行う展示、販売活動に対する機会を増やすなど一層の支援に努めていく。

【問】平成17年秋にはつくばエクспレスが開業の予定だが、一大研究拠点であるつくば研究学園都市と足立区を結ぶことができるチャンスを意識し、充実した内容にすべきである。例えば、つくば研究学園都市の各種機関の東京分室的誘導や大学、高専等の産学協同研究室等の誘導も考えるべきだと思いが、どうか。

【答】吉田候補に投票された票は、批判票でもあろうし、もっと頑張れとの辛口の励ましの票もあるのではないかとと思われる。いずれにしても、今、区民が一番望んでいることは何かという原点に戻り、かつまた、今やらなければならないことは何かを見極めながら今後の区政運営を進め、全力をあげ区民の信託に応えていきたいと考えている。

【問】区の構造改革路線は、二ユーパブリックマネジメント(PM)という新しい行政手法を導入した。これは、自治体本来の仕事をしていくことは「民間へ」と、事業や施設運営の民間委託や、事業の廃止や縮小をすすめ、地方自治体を「営利企業化」「開発会社化」し、自治体の役割を大きく後退させるものである。この手法を進めれば、自治体の存在意義がなくなってしまうと思いが、どうか。

また、自治体本来の仕事をするように考えているのか伺う。

【問】国の「離職者支援貸付制度」は、貸付対象が生計中心者の失業・廃業に限られているため、収入が著しく減少したり、他の貸付金が受けられない区民に対応できない。国の制度との狭間にあつて支援を受けられない区民に対して、生活資金だけでなく、入学支度金や住宅ローンのつなぎ資金等に充てられる貸付金として、「(仮称)緊急生活保障制度」を実施せよ。

【問】失業者の方には国の失業給付等がある。子どもの教育費については育英資金や公的機関

も、構造改革を着実に進めながら、住民福祉増進に努めていく。区民に負担をこれ以上強いるな【問】区民のくらしが深刻な時に、保育料の値上げや、手数料・使用料の見直し、学校開放時の施設使用料の新たな徴収など、これ以上の区民負担を増やすべきではないと思いが、どうか。

【問】つくばエクспレスの開通は、交流・連携の幅を広げるチャンスでもあると認識している。

【問】つくばエクспレスの開通は、交流・連携の幅を広げるチャンスでもあると認識している。

【問】つくばエクспレスの開通は、交流・連携の幅を広げるチャンスでもあると認識している。

【問】つくばエクспレスの開通は、交流・連携の幅を広げるチャンスでもあると認識している。

【問】つくばエクспレスの開通は、交流・連携の幅を広げるチャンスでもあると認識している。

【問】つくばエクспレスの開通は、交流・連携の幅を広げるチャンスでもあると認識している。

【問】つくばエクспレスの開通は、交流・連携の幅を広げるチャンスでもあると認識している。

### 日本共産党足立区議団



大島 芳江 議員

【問】商店街の街路灯は、区民の生活安全に大変寄与しているところであるが、街路灯の維持費については、大変な負担となっている。現在、区は電気代の助成として平成11年より補助率を2分の1から3分の2に増額したが、この補助率を100%助

成するべきだと思いが、どうか。

【問】商店街の街路灯は、区民の生活安全に大変寄与しているところであるが、街路灯の維持費については、大変な負担となっている。現在、区は電気代の助成として平成11年より補助率を2分の1から3分の2に増額したが、この補助率を100%助

成するべきだと思いが、どうか。

【問】商店街の街路灯は、区民の生活安全に大変寄与しているところであるが、街路灯の維持費については、大変な負担となっている。現在、区は電気代の助成として平成11年より補助率を2分の1から3分の2に増額したが、この補助率を100%助

成するべきだと思いが、どうか。

【問】商店街の街路灯は、区民の生活安全に大変寄与しているところであるが、街路灯の維持費については、大変な負担となっている。現在、区は電気代の助成として平成11年より補助率を2分の1から3分の2に増額したが、この補助率を100%助

【問】商店街の街路灯は、区民の生活安全に大変寄与しているところであるが、街路灯の維持費については、大変な負担となっている。現在、区は電気代の助成として平成11年より補助率を2分の1から3分の2に増額したが、この補助率を100%助

成するべきだと思いが、どうか。

【問】商店街の街路灯は、区民の生活安全に大変寄与しているところであるが、街路灯の維持費については、大変な負担となっている。現在、区は電気代の助成として平成11年より補助率を2分の1から3分の2に増額したが、この補助率を100%助

成するべきだと思いが、どうか。

【問】商店街の街路灯は、区民の生活安全に大変寄与しているところであるが、街路灯の維持費については、大変な負担となっている。現在、区は電気代の助成として平成11年より補助率を2分の1から3分の2に増額したが、この補助率を100%助

成するべきだと思いが、どうか。

【問】商店街の街路灯は、区民の生活安全に大変寄与しているところであるが、街路灯の維持費については、大変な負担となっている。現在、区は電気代の助成として平成11年より補助率を2分の1から3分の2に増額したが、この補助率を100%助

【問】商店街の街路灯は、区民の生活安全に大変寄与しているところであるが、街路灯の維持費については、大変な負担となっている。現在、区は電気代の助成として平成11年より補助率を2分の1から3分の2に増額したが、この補助率を100%助

成するべきだと思いが、どうか。

【問】商店街の街路灯は、区民の生活安全に大変寄与しているところであるが、街路灯の維持費については、大変な負担となっている。現在、区は電気代の助成として平成11年より補助率を2分の1から3分の2に増額したが、この補助率を100%助

成するべきだと思いが、どうか。

【問】商店街の街路灯は、区民の生活安全に大変寄与しているところであるが、街路灯の維持費については、大変な負担となっている。現在、区は電気代の助成として平成11年より補助率を2分の1から3分の2に増額したが、この補助率を100%助

成するべきだと思いが、どうか。

【問】商店街の街路灯は、区民の生活安全に大変寄与しているところであるが、街路灯の維持費については、大変な負担となっている。現在、区は電気代の助成として平成11年より補助率を2分の1から3分の2に増額したが、この補助率を100%助

